

2023年1月31日

県内景況

株式会社 鹿児島銀行
株式会社 九州経済研究所

最近の県内景況は、消費関連が持ち直している。一方、観光関連は一服、雇用情勢は横ばい、生産活動がやや弱含み、投資関連が弱含み、畜産関連が低迷している。足元ではコロナ第8波や、物価高騰は収まりを見せないものの、社会経済活動の再開の動きが続き、全体として回復傾向が続いている。

生産活動は、10月の鉱工業生産指数が4か月連続で前年を下回った。食料品、窯業・土石製品、電子部品・デバイスのいずれも前年を下回った。

畜産関連では、12月の肉用牛（和牛）枝肉価格は、去勢A4、去勢A3共に前年を下回った。また豚肉相場も前年を下回った。一方、ブロイラーもも肉、むね肉、鶏卵相場のいずれも前年を上回った。

個人消費関連は、12月の乗用車新車登録台数は前年を下回ったものの、11月の家電大型専門店ほぼ前年並み、11月の百貨店・スーパー販売額、ドラッグストア、コンビニエンスストア販売額や12月の軽自動車届出台数は前年を上回った。

観光関連では、12月の主要ホテル・旅館宿泊客数(鹿児島・霧島・指宿地区)は、13か月ぶりに前年を下回り、主要観光施設入場者数も、前年を下回る施設が多くみられた。

投資関連では、公共工事請負金額、民間建築工事費予定額、新設住宅着工戸数のいずれも前年を下回った。

雇用情勢は、11月の有効求人倍率は前月を0.03ポイント下回る1.32倍となった。

【生産活動】... やや弱含み

電子部品関連は、スマホや5G関連は堅調だが、一部で在庫調整の動きがみられる。また、海外情勢の影響で、先行きに不透明感がある。

11月の焼酎生産は、ほぼ前年並みで、出荷量は2か月連続で前年を下回った。

11月のかつお節生産は、2か月連続で前年を上回った。

12月の生コン生産（出荷量）は、公共工事向けが2か月連続で前年を下回り、民間工事向けは4か月連続で前年を下回り、全体では15.4%減と4か月連続で前年を下回った。

12月の紙パルプ生産は、ほぼ前年並みだった。

木材関係は、製品相場がすぎ、ヒノキ共に前年を下回った。

【畜産関連】... 低迷

12月の子牛の出荷頭数は前年を上回り、価格は前年を下回った。12月の肉用牛（和牛）の枝肉価格は去勢A4は2か月連続で前年を下回り、去勢A3は4か月連続で前年を下回った。11月の枝肉生産量はほぼ前年並みとなった。

12月の豚肉相場は8か月ぶりに前年を下回った。11月の枝肉生産量は前年を下回った。

12月のブロイラー相場は、もも肉は6か月連続で前年を上回り、むね肉は35か月連続で前年を上回った。12月の処理羽数は前年を上回った。

12月の鶏卵相場は前年を上回った。11月の配合飼料価格は前年を上回った。

【消費関連】... 持ち直し

11月の百貨店・スーパー販売は、衣料品は前年を下回ったものの、飲食料品が前年を上回り、全体では14か月連続で前年を上回った。

11月の専門量販店販売額は、家電大型専門店はほぼ前年並み、ドラッグストア、コンビニエンスストアは前年を上回った。

12月の乗用車新車登録台数は、4か月ぶりに前年を下回った。車種別にみると、普通車は8.3%減、小型車が4.0%増となった。

12月の軽自動車届出台数は4か月連続で前年を上回った。

【観光関連】 ... 一服

12月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、関東、関西からの入り込みは増加したものの、九州からの入り込みや個人客、団体客が共に減少し、13か月ぶりに前年を下回った。

鹿児島地区は、関東、関西からの入り込みや個人客が増加したものの、九州からの入り込みや団体客が減少し、ほぼ前年並みとなった。

霧島地区は、九州からの入り込みや個人客、団体客が共に減少し、14か月ぶりに前年を下回った。

指宿地区は、関東、関西からの入り込みや団体客は増加したものの、九州からの入り込みや個人客は減少し、12か月ぶりに前年をやや下回った。

種子島・屋久島地区は、12か月ぶりに前年を下回り、奄美地区も10か月ぶりに前年を下回った。

12月の主要観光施設入場者数は、前年が大幅増となった反動もあり前年を下回る施設もみられた。

【投資関連】 ... 弱含み

12月の公共工事は、件数、請負金額共に前年を下回った。

11月の民間建築工事着工は、棟数、床面積、工事費予定額共に前年を下回った。

11月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲がいずれも前年を下回り、全体では3か月連続で前年を下回った。新設住宅着工戸数の合計の3か月移動平均は前年を下回り、25.8%減となった。

11月の主要建設資材卸売業者の売り上げは、2か月連続で前年を下回った。

【貿易関連】 ... 輸出額は前年を下回った一方、輸入額は前年を上回った

11月の輸出額は、パルプ及び古紙、ゴムタイヤ及びチューブ、木材が前年を上回ったものの、再輸出品、食料品及び動物が前年を下回り、全体では92.8%減と4か月連続で前年を下回った。輸入額は、原油及び粗油、穀物及び同調製品が前年を上回り、全体で56.9%増と20か月連続で前年を上回った。

【雇用情勢】... 横ばい

11月の有効求人倍率は前月を0.03ポイント下回る1.32倍となった。県内求人数を業種別にみると、建設業はほぼ前年並みで、製造業、卸小売、医療・福祉は前年を上回った。

【金融情勢】... 貸出金残高は前年を上回った

10月の県内金融機関の貸出金残高は前年を1.7%上回った。

【企業倒産】... 倒産件数は前年を上回った

12月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が5件で前年同月（4件）を上回った。また負債総額は4億20百万円で前年同月（2億61百万円）を上回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】 (株)九州経済研究所 (Tel 099-225-7491)